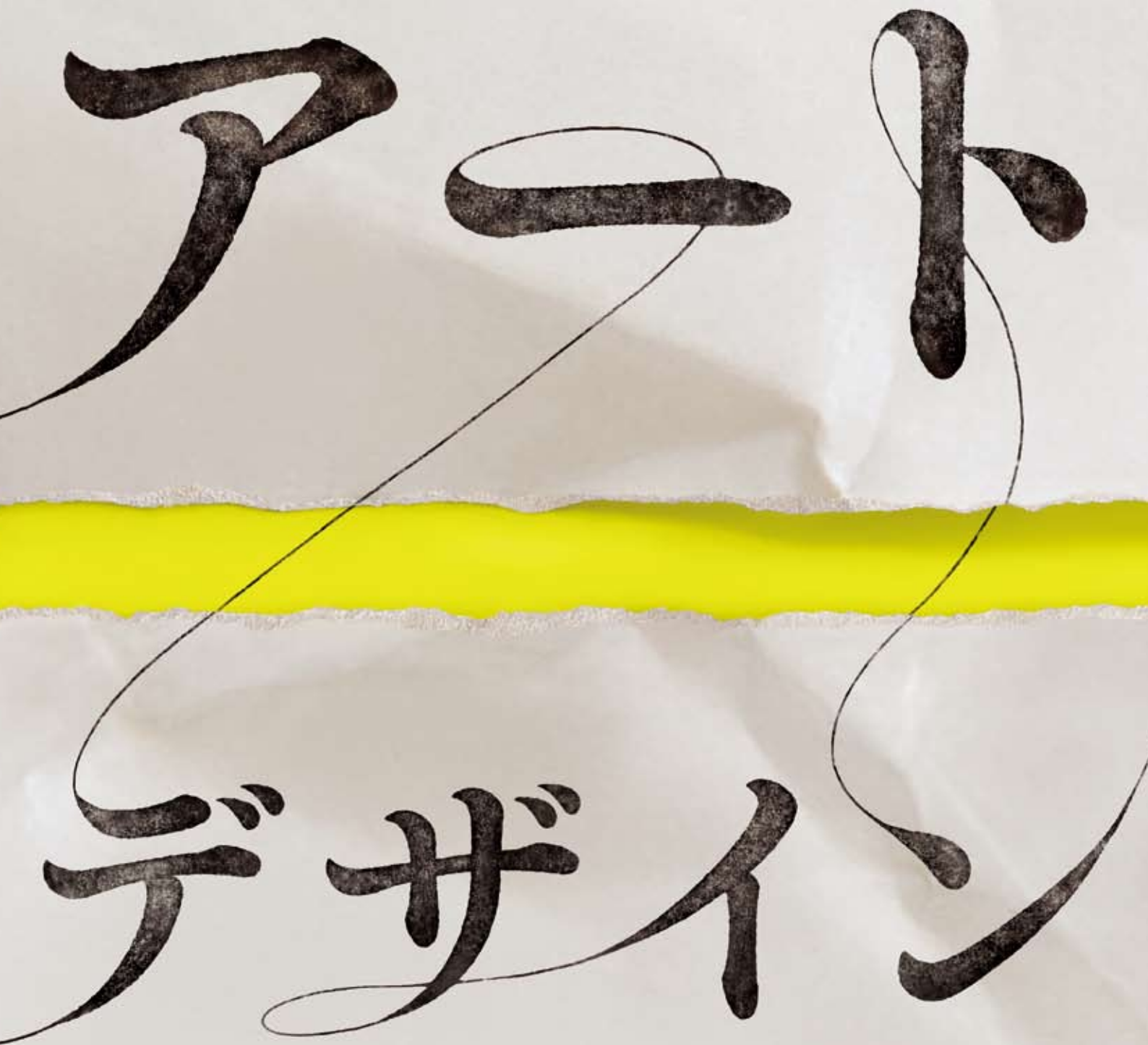


藝術学関連学会連合第6回公開シンポジウム

「アートとデザインーその分離と融合ー」



豊中キャンパス・大阪大学会館講堂 (変更の際は掲示) | 入場無料 (申込み不要)
2011.6.18 | sat | 13:00 ▶ 17:30

併催行事: 大阪大学創立80周年記念展見学会 (大阪大学総合学術博物館 11:00-12:00) 『阪大生・手塚治虫ー医師か?マンガ家か?ー』

開会挨拶 西村清和 (東京大学: 藝術学関連学会連合会長)
片山 剛 (大阪大学大学院文学研究科: 共催者代表)

趣旨説明 黒川威人 (金城大学: 日本デザイン学会)
藤田治彦 (大阪大学: 意匠学会)

ゲスト・パネリスト 黒川雅之 (黒川雅之建築設計事務所)
報告「デザインとは何かーそのありようを問う」

パネリスト 竹内有子 (大阪大学: 意匠学会)
報告「19世紀イギリスに見るアートとデザインー官立デザイン学校を中心にー」

森 仁史 (金沢美術工芸大学: 美術史学会)
報告「アートとデザイナーー日本の場合ー」

竹原あき子 (和光大学: 日本デザイン学会)
報告「デザインの現在ー日本デザイン力は取り戻せるか」

ディスカッション
司会: コーディネーター 黒川威人 / 藤田治彦

アートとデザイン ーその分離と融合ー

藝術学関連学会連合シンポジウム、第6回目の今年
は、「デザイン」をおもなテーマに開催します。藝関連
に先駆ける藝研連シンポジウム以来今回まで、それが
中心テーマとならなかったおもな理由は、「藝術」と

いいながらも、じつは広く「アート」や「アーツ」ではなく、「ファイン・アート」や「ファイン・アーツ」といった言葉が示唆
する、純粋に美的な鑑賞の対象としての藝術を想定するという思い込みにあったのかもしれませんが。「デザイン」
には生活や環境あるいは機能といった現実空間や実社会または実世界との強い関連があり、それは純粋に美的
な鑑賞の対象ではありません。しかし、「ファイン・アート」はいわば近代の産物です。制作品が役立つか役立たない
かといった違いを超えて、私たちは元来「アート」を共有してきました。藝術を「ファイン・アート」等、特定の領域に限る
のは、歴史的にも、その将来を考えても、有意義なことではないでしょう。最近では、社会的課題にクリエイティヴ
に取り組む「ソーシャル・デザイン」が唱えられ、エンターテインメント・プロジェクトが「グッド・デザイン」に選ばれる
など、「デザイン」は急速にその意味を拡大しています。また、「アート」観も拡大しています。実用的あるいは道具的な
意味でというよりも、社会的あるいは環境的に役立つ「アート」、あるいは生きる喜びを与えたり、社会参加やコミュニ
ケーションを促進したりする「アート」が世界各地で試みられています。

何が「アート」と「デザイン」を分けているのでしょうか。それは政治や教育などの制度でしかないのではないでしょう
か。クリエイティヴな思考や活動がこれまでになく求められているいま、その分離は有効なのでしょうか。「デザイン」
は藝術ではないのでしょうか。その「生活」「環境」「機能」といった側面との関連のあり方を問い、また、同時に、それ
らと藝術との関係を問い、「デザイン」という視点から、逆に、藝術とは何かという問題、あるいは、教育や文化政策に
おける「アート」と「デザイン」との融合の可能性といった問題にまで議論の輪を広げることができれば幸いです。



2011.6.18 (土) 13:00 ▶ 17:30

大阪大学会館講堂 (変更の際は掲示) | 入場無料 (申込み不要)

阪急電車宝塚線「石橋駅」下車徒歩10分・大阪モノレール「柴原駅」下車徒歩15分
以下のアクセスマップをご参照ください。
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

主催: 藝術学関連学会連合 (意匠学会 / 国際浮世絵学会 / 東北藝術文化学会 /
東洋音楽学会 / 日本映像学会 / 日本演劇学会 / 日本音楽学会 / 日本デザイン学会 /
比較舞踊学会 / 美学会 / 美術科教育学会 / 美術史学会 / 広島芸術学会 /
服飾美学会 / 舞踊学会)

日本学術会議哲学委員会 芸術と文化環境分科会

共催: 大阪大学大学院文学研究科

【問い合わせ先】大阪大学大学院文学研究科美学研究室 06-6850-5122

併催行事: 大阪大学創立80周年記念展覧学会 (大阪大学総合学術博物館 11:00 - 12:00)

『阪大生・手塚治虫ー医師か? マンガ家か?ー』